



特集

アジアの人類史

～アジアに拡散した人類たちの進化を追う～

サイエンス・イン・ビュー

動物の模様や形の謎を数理的な法則から解き明かす

標本の世界

災害研究資料としての絵画や写真

科学冒険隊

植物の水の通り道を観察しよう！

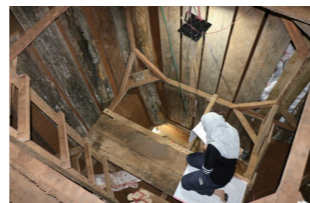
真実を見抜く技術！

繊維片、ガラス片、陶器片から真実を見つける！

「milsil(ミルシル)」について
「milsil(ミルシル)」の「mil(ミル)」は「見てみる」「聞いてみる」「やってみる」の「ミル」。そのような「ミル」から、新たな、そして豊かな「sil(シル=知る)」が得られるでしょう。この雑誌とともに、皆様楽しい「ミルシル」体験をされることを願っています。

C O N T E N T S

- 3 **【特集】アジアの人類史**
～アジアに拡散した人類たちの進化を追う～
[全体監修] 藤田 祐樹 (国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ研究主幹)
- 4 **アジアの人類史がおもしろい!**
藤田 祐樹 (国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ研究主幹)
- 6 **かつてアジアには多様な原人や旧人がいた**
海部 陽介 (東京大学総合研究博物館教授)
- 9 **古代DNA研究がひもとくアジアへの人類渡来**
神澤 秀明 (国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ研究員)
- 12 **渡海による移住に成功したウォーレス島の旧石器人**
小野 林太郎 (国立民族学博物館人類文明誌研究部准教授)
- 15 **化学分析が明らかにする世界最古級の土器とその使用法**
國木田 大 (北海道大学大学院文学研究院准教授)
- 18 **サイエンス・インタビュー 科学のいま、そして未来
動物の模様や形の謎を数理的な法則から解き明かす**
近藤 滋 (大阪大学大学院生命機能研究科生命機能専攻パターン形成研究室教授)
- 22 **標本の世界
ここは美術館? いえ、博物館です!
災害研究資料としての絵画や写真**
室谷 智子 (国立科学博物館理工学研究部理化学グループ研究主幹)
- 24 **親子で遊ぼう! 科学冒険隊
#79 植物の水の通り道を観察しよう!**
村井 良徳 (国立科学博物館植物研究部多様性解析・保全グループ研究主幹) 監修
- 28 **真実を見抜く技術! 最終回
微細な証拠物を鑑定する先端分析技術
繊維片、ガラス片、陶器片から真実を見つける!**
笠松 正昭 (科学警察研究所法科学第三部化学第三研究室長) 取材協力
- 33 **NEWS&TOPICS**
世界の科学ニュース & おもしろニュース
- 34 **milsil カフェ / 次号予告 / 定期購読のお知らせ / 編集後記**



スラウェシ島(インドネシア中部)のトボガロ洞窟群遺跡での発掘風景(深さ3~5m) 画像提供:小野林太郎



表紙写真

2003年に、インドネシアのフローレス島にあるリアンブア洞窟の約10~6万年前の地層から発掘された化石をもとに復元されたフローレス原人と、当時、島で共存していた動物たち(小型化したゾウのなかまピグミー・ステゴドンや大型化したジャイアント・ラットなど)。フローレス原人の身長は1mほどしかなく、脳の大きさも猿人並みの小ささです。孤立した島では、動物の身体が大きくなったり小さくなったりする「島嶼効果」という現象が起きることが知られています。これによりフローレス原人も小型化したのではないかと考えられています。 ©国立科学博物館

特集

アジアの人類史

～アジアに拡散した人類たちの進化を追う～

[全体監修] 藤田 祐樹 (国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ研究主幹)

Q: 人類の祖先たちの化石や石器などが、^{どうくつ}洞窟内で数多く発見されるのはなぜでしょう?



画像提供:海部陽介

インドネシアのフローレス島にあるリアンブア洞窟。ここから身長約105cmという超小型のフローレス原人の化石が発見された。

A: 洞窟の内部は、雨風をしのげるだけでなく、気温の変化が小さいため夏は涼しく冬は暖かく過ごしやすい場所です。外敵から身を守ることもできます。人類は古くから洞窟を生活の場所として、一時的なキャンプ地として、また埋葬地としても利用してきました。こうした洞窟内の遺跡は保存性に優れ、石灰岩の洞窟では化石骨も残りやすいという特徴があります。日本でも数多くの洞窟遺跡が発見されています。